



愛知県自作視聴覚教材コンクール



電気の性質を調べよう
電気自動車につながる基礎知識



＜学校教育部門＞
コンピュータソフトウェア教材
(マルチメディア)最優秀賞

平成22年度(第55回)愛知県自作視聴覚教材コンクール入選作品を「学びネットあいち」の学習コンテンツガイド「自作教材を学ぶ」で紹介しています。

平成22年度の最優秀賞作品は、飛島村自作視聴覚教材研究会の「見つめよう!自分の未来」、岡崎市自作教材制作委員会の「電気の性質を調べよう!～電気自動車につながる基礎知識～」です。

その他にも、地域の歴史や文化、伝統産業など、自作視聴覚教材から様々な内容を学ぶことができます。ぜひご覧ください。



＜学校教育部門＞
ビデオ教材最優秀賞

ホームページはこちら

⇒ <http://www.manabi.pref.aichi.jp/general/gaido/sityoukaku/top.htm>

「学びネットあいち」ネットワーク機関紹介



「観て、作って、遊べる」陶磁器専門ミュージアム 愛知県陶磁資料館



愛知県陶磁資料館は日本の焼き物から世界各地の焼き物まで、年間を通して企画・展示している、まさに「やきもの百科事典」。観るだけでなく、焼き物を作ることができる体験施設を常設する、全国でも珍しい博物館・美術館です。

重要文化財
猿投平安時代初期
愛知県陶磁資料館蔵
灰釉多口瓶



実物で焼き物の辞書を目指す ～やきもので世界旅行～

焼き物の博物館や資料館は地元の焼き物だけを扱うことが多い中、愛知県陶磁資料館では、地元はもちろん日本各地の焼き物を収集しています。また、日本の特色がわかるように世界各地の焼き物も展示しています。

日本の博物館や美術館の中でも規模が大きく、常に世界各地の焼き物、日本全体の焼き物を観ることができるので、「日本陶磁美術館」と言ってもよいほどです。

本物に触れる ～作る楽しみ・使う喜び～

焼き物に触れ、作り、使い、良さを感じることができるのが「陶芸館」と「陶翠庵」。一般の博物館や美術館では珍しい常設の体験施設です。

「陶芸館」では、“陶芸のプロ”とも言える陶芸指導員から教えてもらうことができるので、簡単に本格的な焼き物を作ることができます。

また、「陶翠庵」では、なかなか触れる機会のない陶芸作家の茶碗でお茶を飲むことができます。茶碗は毎月変わり、その月が誕生日の陶芸作家の作品が登場します。好きな作家と出会えるかもしれないと思うとワクワクします。

●作陶している方の感想 「どんな風に焼きあがるか楽しみ。色々な人の作品を見ることができるので、自分の勉強になる。」



出前博物館 ～子どもの興味を掻き立てる～

子どもたちに「やきもの」に興味を持ってほしいという願いから始まった「出前博物館」。陶磁資料館の学芸員が県内の小学校に出向いて出前授業を行います。5種類の焼き物を手に取り、音の違いや感触で、この焼き物は「陶器?磁器?何なの?」と考えます。鎌倉時代の焼き物など本物に触れ、子どもたちは好奇心いっぱい。質問も多く飛び出していました。

●子どもたちの感想 「色々な土を使っていて、色々な種類があることがよく分かった、楽しかった。」

お問い合わせ

愛知県陶磁資料館 【TEL】0561-84-7474 【URL】<http://www.pref.aichi.jp/touji>



「ネットワーク機関」とは生涯学習情報を「学びネットあいち」に提供していただける機関・団体のことです。随時募集しています。詳しくは「学びネットあいち」(<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>)をご覧ください。